

# 原発再稼働阻止 全国ネットワーク ニュース



ニュース 第10号  
2016年12月24日

発行：再稼働阻止  
全国ネットワーク  
(070-6650-5549)

101-0061 東京都千代田区三崎町2-6-2 ダイナミックビル5F たんぽぽ舎 気付

## 最近、地震が多い。原発は大丈夫か？－国民多数の声

福島沖地震(M7.4)で東電福島第二原発の冷却水がもれた  
気象庁が警告する「もうひとつ大きな地震・津波」が来たら福島原発は  
耐えられるか？

柳田 真(たんぽぽ舎、再稼働阻止全国ネットワーク)

1. M(マグニチュード)7.4という大きめの地震(福島沖地震)が11月22日東北地方をおそった。M7.4は、1995年1月の阪神淡路大震災(M7.3)よりもエネルギーは大きい地震だ。しかも、5年8カ月前の2011.3.11の東日本大震災(M9.0)の「余震」であること、今後もM8クラス、M7クラスの余震が心配されると気象庁はいう。島村英紀(地震学者)氏によると、M9の大地震のあとは過去の経験からみて100年位、M8クラスの余震がおきる可能性があるという。こわい。地震列島日本の現実だ。

それで、ポロポロのあの福島第一原発の4基プラス2基が、そして福島第二原発の4基(合計10基)が果たしてもつのか、誰もが不安を抱く。新たなリスクに耐えられるか？

### 【一番のリスクは(津波による)地下滞留水(汚染水)の流出】

2. 気象庁が警告・予測する「もうひとつ大きな地震・津波」=2011.3.11のM9地震より1ランク下のM8クラスの地震・津波が発生したら、果たして、東京電力福島第一、第二原発(10基)はもつのか、耐えられるか？を産経新聞(11月26日)がのせている。

産経記事は、4つの視点から検討している。

1つは、原子炉建屋は壊れない？ 2つは、燃料の冷却は？ 3つは、再臨界の可能性は？ 4つは、最大のリスクは汚染水流出。全体としては、東京電力のいい分(いいわけ)を多く紹介して福島原発のリスク=「心配を減らそう」としているが、それでも文章のはしはしに「地震・津波再び…福島第一は新たなリスクに耐えられるか？－かなり心配だ」と読める内容だ。

とくに4番目の一番リスクがあるのは(津波による)地下滞留水(汚染水)の流出問題だと規制庁の安井正也審

議官が断言している。福島第一の地下などにたまった(放射能)汚染水は計約6万トン。

### 【福島原発の防潮堤が5年8カ月たってもいまだに「仮設」】

3. 安倍政権=体制側にぴったりで、東電のいい分を大きく紹介の「大甘」の産経新聞記事ですら、これだけの心配・不安をあげている。実態はM8クラスの地震・津波が来たら福島第一、第二原発は大事故=大惨事になる。(東京も人が住めなくなる可能性が大きい=放射能で)どう防ぐのか？ 許せないのは、福島原発の防潮堤が5年8カ月たってもいまだに「仮設」ということだ。東電の安全経費をケチる体質のあらわれである。比較して、新潟県内の東電柏崎刈羽原発の防潮堤は「仮設」ではなく、本格的なものをつくった。こちらには大きな予算を投入して、福島原発には予算を投入しない=仮設のままの東電。これを報道しない、追及しないメディアの怠慢。福島県・安倍政権の怠慢ともども批判されるべきだ。

### 【一番の安全対策は何か？それは危険なものは作らない】

4. 「地震・津波・火山噴火の3大リスク大国の日本列島」の一番の安全対策は何か？それは、危険なものは作らないこと、できたものは早く大災害の前に廃止すること(原発を即やめること)だ。2011.3.11以来の5年8カ月の経過は原発電気ゼロで、日本はやれたという事実だ。電気は原発ゼロですむ。火力、水力、自然エネルギーで電気はつくれる。省エネ・節電で、安心=安全なエネルギーと社会をめざしたい。あいつぐ地震と原発事故におびえることから、おさらばしよう。

再稼働阻止全国ネットワーク「全国相談会」1月21日(土)午後～22日(日)午前  
会場：PLP会館(大阪市天神橋3丁目) 詳細問い合わせは再稼働阻止ネット事務局までご連絡を(交通費の補助を実施します。)

# 再稼働阻止全国ネットワーク「全国相談会」報告

《10月8日（土）夜～10月9日（日）午前》

於：北海道・倶知安町（参加者 道外59人、道内21人 計80人）

\*\*\*\*\*

## 【佐藤英行さんの泊原発をめぐる状況のレポート】

- ・基準地震動の客観性・海底活断層の存在・避難計画の実行可能性のなさ。
- ・核のゴミ処理などの論点で、大臣・知事に説明会を求め開催した経過。



## 【柳田さん(再稼働阻止ネット・東京)のレポート】

- ・東京での原子力規制委・各電力会社(東京支社)への抗議行動の持続。
- ・泊再稼働反対の抗議のハガキ運動・抗議看板づくりへの支援、泊の家への援助など、東京での活動と泊原発反対運動との連携について詳細にレポート。

## 【木村さん(再稼働阻止ネット・東京)の規制委員会抗議行動についてレポート】

## 【けしばさん(反原発自治体議員市民連盟)の市町村単位での働き掛けの活動についてレポート】

## 【小野有五さん(泊原発の廃炉をめざす会)のレポート】

- ・「行動する市民科学者の会・北海道」をたちあげ、規制委員会の審査過程を詳細に検証、海底活断層の存在を明らかにし、突き付け、追いついてきている活動についてレポート。
- ・活断層問題こそが、泊原発の再稼働をストップさせる大きな争点、ここを攻めようということが全体で確認された。



## 【瀬尾英行さん(泊村・護憲ネットワーク北海道共同代表)のレポート】

- ・再稼働を阻止するには、現地・現場の闘いが大切であることを力説。
- ・立地地域のがんの死亡率の高さなど、具体的にキチンと調査し、ポスティング活動など、地域に訴える地道な活動の必要について。



## 《討論のまとめ》

討論は、この六人の提起を受けて、活発に展開された。福島放射能に晒され続けている現状について、現地の二人の女性から、生々しい具体的なレポートあり。九州（川内）そして四国（伊方）また関西（高浜）の再稼働後の力強く持続されている活動の報告をばさんで、日本からの原発輸出に反対するインド人のアピールもあり、北海道を走り回り、各自自治体などに反対の声を届けてきたサイクリンググループの、駆け込み報告あり。とにかく多様な活動が楽しく紹介される場となった。時間が足らず、積み残された論点は多かったが、9日の集まりは、泊の闘いを、全国をつないで、どう展開すべきかに絞りこまれて論議された。

## ●決定された行動は以下の通り。

- ① 原子力規制委員会への抗議行動、一 全国共同で、現地出張所と東京のネットで。  
（活断層・火山、地震問題を攻め込む） <11月末スタート>
- ② 泊原発再稼働反対の全国からのハガキ抗議、とりあえず五千枚。北電、知事、村長あて。
- ③ 北海道電力への抗議活動、本社プラス道内（9）、少人数でも、全てへの抗議一東京支社で東京側も同時に（日時の相談）取り組む。
- ④ 次回の全国相談会は、関西で、1月か2月に開催。⇒1月21日(土)、22日(日)に大阪開催決定・瀬尾さんから、“ふるさと”応援隊を全国から集めたい、反原発名誉道民づくりという提案もあった。⇒（泊原発などの情報を届けます。）  
〈文責、天野(再稼働阻止ネットワーク事務局)〉



## 「泊原発再稼働阻止」現地行動に参加して

10月8日(土) さよなら原発北海道(札幌大通り公園)集会(250名)

10月8日～9日「再稼働阻止全国ネットワーク全国相談会」(80名)

10月9日(日) 泊原発再稼働阻止現地(岩内)集会(250名)

10月10日(月) 地形・地質現地見学フィールドワーク[60名]

### ■「相談会」に参加して驚いた話..... 小熊ひと美(西東京市)

「原発はいらない西東京集会」と「NO NUKES 刺繍グッズ」の小熊です。

2011年4月に始まった地元の東京都西東京市での集会とデモは、次回で21回目になります。ふだんは毎週金曜日の国会前の抗議集会で、たんぼぼ舎の皆さんたちと一緒に自作のNO NUKES 刺繍グッズや「アベ政治を許さない」バッジやグッズなどを拡散しています。

原発現地での集会と「全国相談会」に参加したのは、昨年10月の伊方原発の集会以来、今回の10月の泊原発で4回目です。再稼働阻止ネットの相談会には驚きました。最初に参加した伊方では、「相談会」ってどんくさい名前(失礼!) 誰に何を相談するんだろう? と思いながら参加しました。見るのも聞くのも初めてのことばかりでしたが、発言を聞いて、次第に全国の原発現地の方の姿に引きつけられました。

長い間原発に反対してきた人が、日本全国にこんなにたくさんいるんだ、と軽いショックを受けました。そして東電福島第一原発の事故が起きるまで、私は原発が建っている現地のことをリアルに想像できなかった。原発の危険性は知りながらも、原発から遠く離れた東京で、文字通り流されるままに電気を浪費してきた自分が情けない、と4年前に感じたことを改めて思い出しました。

最初は発言されているのがどこの誰なのかもわかりませんでした。その後、高浜、伊方と参加し、今回の泊では顔見知りの方も増えてきました。皆さんと集会でご一緒するだけでなく、相談会での各地からの発言で、これまで地元と国会周辺だけで活動してきた私にも、現地の切迫した状況が少しずつリアルに理解できるようになりました。皆さんの言葉に、私も地元でがんばろうと励まされる気がしています。

再稼働阻止ネットの「相談会」とは、誰かエライ人が一方的に全国の相談を引き受けるのではなくて、各地で闘う人々が、知恵を出し合い励まし合う場なのですね。最初はどんくさいと思った「相談会」ですが、あえて素朴なネーミングが手作りの会議の性格を表していて、なかなかいいなと思うようになりました。

今回の相談会で一番印象的だったのは、8月にとうとう稼働してしまった伊方原発のゲート前で、稼働の瞬間に、長年反対運動をされてきた斎間淳子さんが涙を流されたという話です。その直前の7月の伊方集会の際、分乗した車の中で、現地の方から斎間さんたちの50年に亘る闘いの話を聞きました。その斎間さんがどんな思いでそこに立っておられたのかを考えると、私も厳粛な気持ちになりました。現地集会に参加できない人の気持ちを、自分に代わって参加する人にカンパをすることで受け止める、「原発現地へ行く会」の素晴らしいアイデア、企画により今回も参加できました。皆さんに感謝いたします。機会があったらまた参加して全国の活動を地元でも知らせ、現地と繋がりに一緒に原発をなくしていきたいと思ひます。



# 2016年 再稼働阻止全国ネットワーク 主要活動



1月6日	関西電力東京支社抗議行動 ・毎月第1水曜日	5月3日	憲法集会（有明）カンパ行動 →総会（豊洲）
1月19日	総がかり行動カンパ集め （2月～12月・毎月19日）	5月11日	関西電力東京支社抗議行動
1月20日	四国電力東京支社抗議行動 ・毎月第3水曜日	5月18日	四国電力東京支社抗議
1月23-24日	高浜原発ゲート前集会 →アマーバデモ→ミニ集会	6月1日	九電東京支社抗議行動 7/6、8/3、9/7、10/5、11/2
1月27日	高浜原発3号機再稼働阻止関電抗議行動	6月3日	原子力規制委員院内ヒアリング集会
2月3日	関西電力東京支社抗議行動	6月11日	四国電力全国共同抗議 →九電東京支社抗議行動
2月17日	四国電力東京支社抗議行動	7月8日	原子力規制委員会・全国一斉抗議
2月20-21日	高浜4号機再稼働阻止行動・アマーバデモ	7月11日	四国電力全国一斉抗議
3月2日	関西電力東京支社抗議行動	7月24-25日	伊方原発ゲート前全国集会 →7/25 伊方庁舎周辺デモ
3月8日	原子力規制委員会参議院院内 ヒアリング集会	7月26日	四国電力東京支社行動、 8/10、9/22、10/19、11/16
3月16日	四国電力東京支社抗議行動	8月9日	原子力規制委員会院内ヒアリング ：伊方を動かすな！
3月26日	原発のない未来へ！ 3.26 全国大集会・カンパ行動	8月10-11日	伊方原発動かすな！ 現地行動/東京・四電抗議行動
4月6日	関西電力東京支社抗議行動	9月末日	「伊方の家」撤収・八幡浜現地活動3年9ヵ月
4月20日	四国電力東京支社抗議行動	10月8日	さよなら原発北海道（札幌）集会参加 →全国相談会
4月23-24日	松山全国集会 →全国相談会	10月9日-10日	全国相談会 →泊原発再稼働阻止現地集会・デモ行動



伊方原発再稼働阻止ゲート前



泊原発再稼働阻止岩内集会



若狭のアマーバデモ



伊方原発再稼働阻止海上行動



東通村役場前を走る泊自転車隊

# －原発再稼働を押し進める電力会社を許すな！－

## 原発現地の闘いと連携する「電力消費地ー東京での抗議行動」

久保 清隆(再稼働阻止ネットワーク・東京)



電力が自由化されたとはいえ、地域の主流は10電力会社です。沖縄電力を除いて、他はすべて原発を持っています。電力会社は地方では大企業であり優良企業扱いなのです。東電は福島原発事故について責任も取らず、のうのうと生き延びています。福島では多くの人々が避難を余儀なくされ、放射能の危険に曝されています。これこそ「犯罪企業」と言えるのではないでしょうか。

反原発運動で立地現地での闘いは最も重要です。川内原発のある鹿児島では、脱原発を訴えて新知事が誕生しました。しかし九電は、三反園新知事の「原発を止めて、総点検すべき」との要請を、いとも簡単に断りました。命より原発、安全より金儲けの姿勢がハッキリしています。10電力会社のすべてが東京支社を置いています。なぜなら事業主体として経産省の管轄下に置かれ、原発に関しては原子力規制委一庁の認可に委ねられているからです。

立地現地と共に闘うこと、すなわち電力会社東京支社や原子力規制委と闘うことは、大変重要な運動です。ある元電力会社職員だった人が言いました、世間体を気にする電力会社は社前に来て、いろいろ非難されるのが一番嫌なのだ

### 〔今後の日程〕

- |          |                 |             |                               |
|----------|-----------------|-------------|-------------------------------|
| 1月11日(水) | <b>九電東京支社抗議</b> | 17:30~18:15 | 有楽町駅前 電気ビル前 [主催:再稼働阻止ネット]     |
|          | <b>東電本店合同抗議</b> | 18:30~19:30 | [呼びかけ:たんぼ舎/経産省テントひろば 賛同126団体] |
| 2月1日(水)  | <b>九電東京支社抗議</b> | 17:30~18:15 | 有楽町駅前 電気ビル前                   |
|          | <b>東電本店合同抗議</b> | 18:30~19:30 | [呼びかけ:たんぼ舎/経産省テントひろば 賛同126団体] |



再稼働阻止ネットワークサポーター会員募集中!

個人年会費 3,000円 / 団体年会費 5,000円 / キャンパも随時受け付けています。

◆郵便振替で入金の場合 口座記号 : 00110-0-688699 加入者名再稼働阻止全国ネットワーク

※通信欄に、個人サポーター/団体サポーター/カンパ のいずれかを書いて、

お名前と連絡先(住所、電話またはメールアドレス)を添えてお申し込み下さい。

◆銀行などから入金の場合 店名 : 〇一九 店(ゼロイチキユウ店) 口座番号 : 0688699

# 原子力規制委員会の再稼働推進を止めよう 川内・伊方を止めろ、高浜・玄海・泊を動かすな

木村雅英（再稼働阻止全国ネットワーク事務局）



東電福島原発事故を経験し、大地震も火山噴火も頻繁に起こっている日本列島で、何とか原発を稼働させたいという「原子力マフィア」達の願いを受けて、2012年9月に原子力規制委員会が発足した。規制委は、既存の原発を再稼働する為の緩やかに過ぎ合理性を欠く「新規基準」を造り、違法・不合理・耐震偽装・白抜き偽装・事業者任せの審査を続けて再稼働合格証を出し続け、他方で「科学的・技術的」と言いながら実は「政治的」提言を発し続けている。

私たち再稼働阻止全国ネットワークは、早くから原子力規制委員会は再稼働推進委員会であり被ばくを強要する組織であることを指摘し続け、規制委抗議行動、全国一斉規制委抗議行動、規制委院内ヒアリング集会など、全国の原発現地と連帯して規制委を攻めてきた。例えば、2015年2月に鹿児島と福島の女たちが東京に集結した院内集会では、福島の女たちが3.11直後の避難の経験を話し、鹿児島の女たちが避難が不可能であることを再認識し、規制委・内閣府を厳しく追及した。

それでも、規制委は川内・高浜・伊方と次々に合格証を出し再稼働を容認したが、高浜は司法の力で止められ、12月1日現在、稼働しているのは川内2号機と伊方3号機のみである。

一方、もんじゅが破綻して使用済み核燃料の問題が再認識され、他方で東電福島第一原発事故の汚染水対策も廃炉工程も不調ばかりか、収束・廃炉・賠償・除染の費用も当初見込みを大幅に超える事態になって、経産省がそれらの費用を税金または託送料金で「国民」に拙速に押し付けようとして、原発推進に陰りが強まっている。

そのような状況の中で、原子力規制委員会は、高浜・美浜の老朽原発の20年延長を認め、名目ばかりの緊急時対策所設置で再稼働を許可しつつ電力会社の免震重要棟建設断念を容認し、島崎委員長代理が指摘した基準地震動過小評価問題にも蓋をし、フランスで発覚した原子炉の炭素偏析による強度不足までもメーカー任せの判断で現物検査を避け、プルサーマル発電は何ら審査しない、などなど露骨に「原子力マフィア」の立場で電力会社・メーカーを支援して再稼働を推進している。

次は再度高浜か、玄海か、泊か？

引き続き、原子力規制委員会を監視し過ちを指摘し抗議して、再稼働をどんどん遅らせていこう。  
2016年11月29日

## 高浜原発うごかすな！ 大津地裁仮処分抗告審2月決定か 1.22(日) 関電包囲全国集会 (大阪市関西電力本店前)

日時: 1月22日(日) 出発集会 14時~14時30分 大阪市中之島公園 デモ出発: 14:30~

関電包囲全国集会: 16:00~17:30 (大阪市北区関電本店前)

主催: 1.22 関電包囲全国集会実行委員会 呼びかけ: 原子力発電に反対する福井県民会議/さいなら原発・びわこネットワーク/さよなら原発神戸アクション/さよなら原発なら県ネット/ストップ・ザ・もんじゅ/若狭の原発を考える会

再稼働阻止全国ネットワーク

連絡先 TEL 070-6650-5549 FAX 03-3238-0797 info@saikadososhinet.sakura.ne.jp

東京都千代田区三崎町 2-6-2 ダイナミックビル 5F たんぽぽ舎気付け

● 共同代表 中島哲演(福井)/佐々木慶子(ふくしま WAWAWA-環・話・和の会)(福島)/柳田真(たんぽぽ舎 齊間淳子(八幡浜・原発から子どもを守る女の会)(伊方)/佐野慶子(静岡市議会議員)(浜岡)近藤ゆき子(刈羽村 生命を守る女性の会)(柏崎刈羽)/鎌田慧(ルポライター)/広瀬隆(作家)